

五條の歴史を 探る

第146回

五條新宮縦貫鉄道 (その1)

去年は、五條新宮縦貫鉄道(以下、五新鉄道)期成同盟会が、五新鉄道の敷設を政府に請願してから100年の節目でした。これを機に、五新鉄道の歴史について振り返ってみたいと思います。

五新鉄道は、五条駅を起点に野原町・宗松村(現・西吉野町南部)・大塔村(現・五條市大塔町)・十津川村・本宮町を経由し新宮町(現・和歌山県新宮市)へ至る全長約112kmの路線計画でした。

明治5年(1872)、横浜と新橋を結ぶ日本で最初の鉄道が開通して以降、「私設鉄道条例」(明治20年5月公布)や「鉄道敷設法」(明治25年6月公布)といった鉄道関連の法律の公布に伴い、五條を通る鉄道路線が整備されていきました。

明治29年(1896)10月に高田駅と五条駅を結ぶ南和鉄道が開通し、明治34年(1901)10月には五条駅と

和歌山駅(現・紀和駅)を結ぶ紀和鉄道が開業しました(両路線は明治40年に国有化)。

また、大正6年(1917)6月には、二見にあった川端駅から、阪合部村、和歌山県伊都郡富貴村(現・和歌山県伊都郡高野町富貴)を経て大塔村阪本を結ぶ大和索道が開通し、吉野の山々の林産物が五條に入ってくるなど、鉄道路線の発達に伴い、地域も発展していきました。

このような歴史の中で、五新鉄道敷設計画は動き出しました。

文化財課学芸員 山本望実
(つづく)

問 文化財課 ☎ 24・2011



五新鉄道の陸橋跡
(新町1丁目)

「紀路」は、5世紀後期から大和と和歌山・紀伊の道をつなぐ道です。平城京と藤原宮を結ぶ24キロの直線道路「下ツ道」を引き継ぎ、五條を経て、「紀伊水門(港)」まで届きました。吉野川が紀の川と名を変えて、紀の海に流れ込む河口に港があり、難波の港に出ることができました。

五條からは、飛鳥、横大路、竹内峠を経て、難波宮へ出る道もありました。ほかに、「葛城修験道」の資料を追うなら、金剛山・葛城山の総称「葛木山」の山麓を通って、二上山から竹内峠を越え、難波に出ることも可能です。

藤原豊成が難波大臣と呼ばれて難波宮にも通っていたというのは、五條と難波の距離を考えると一見、不可能に見えますが、「道」は、存外に発達していたようです。

天平勝宝8年(756年)5月、聖武天皇が崩御し、翌年1月、橘諸兄が亡くなります。諸兄の長男・橘奈良麻呂はその7月、諸兄亡き後、孝謙女帝の庇護の下に急速に力を伸ばした仲麻呂の専横に怒り、反乱を企てます。

この時、藤原豊成は、弟の仲麻呂には味方せず、奈良麻呂側にいました。聖武天皇の娘不破内親王の夫である塩焼王を次期天皇に推そうとしたからです。が、企ては密告によって露見し、奈良麻呂を始め、一味に名をあげられた人々は、過酷な処分を受けています。豊成も、太宰府に左遷を命じられました。

豊成は太宰府に向かうと都を出た後、病氣と称して難波宮の別邸に入り、以後8年間、仲麻呂が反乱を起こして失脚するまでを難波宮で過ごします。

仲麻呂が破れた後、豊成は右大臣となり、翌年、父の武智麻呂から受け継いだ宇智郡の土地を榮山寺に施入し、62歳で没しました。最後まで父武智麻呂の思いを継ぎ、聖武天皇の一家と、榮山寺を大切にしました。



【展示案内】「布」展
時 1月7日(木)~3月20日(土)

館長 川村 優理

蔵書点検のため休館します

休 2月3日(水)~17日(水)

蔵書点検とは、すべての図書資料を点検し、破損や紛失がないか、正しい場所に所蔵されているかを確認する作業です。

休館中の資料の返却は、ブックポストを利用してください。

新刊本棚

おとなの本

声が通らない



新保 信長 / 著
文藝春秋

居酒屋で店員を呼んでも気づいてもらえない著者が、アメ横の魚屋や相撲の呼び出し等に教えを乞い、通る声の獲得を目指したルポルタージュ。

誘拐ファミリー



新堂 冬樹 / 著
双葉社

100さいの森



松岡 達英 / 著
講談社

100歳を迎えた明治神宮の森は、高層ビルが立ちならぶ東京のと真ん中にある、人の手によってつくられた大きな森です。森の歴史や、森で暮らす生きものたちの様子などを、精密なイラストで紹介しています。

ノラネコぐんだん
ケーキを食べる



工藤 ノリコ / 著
白泉社

こどもの本

新型コロナウイルス感染症対策 貸出本を除菌できます

市立図書館に図書除菌機を設置しました。本に挟まったごみなどを除去し、紫外線ランプで除菌を行う機械です。誰でも利用することができます。貸出を終えた本の除菌に利用してください。

使用方法などは、図書館職員に気軽に尋ねてください。なお、利用の順番待ちをする際は、前の人と十分に距離を空けるなど、感染症対策にご協力をお願いします。

問 生涯学習課 (内線824)

